

基調講演者のご紹介

基調講演（テーマ）

「(仮) 農山漁村と都市の多面的
共生と再生について」



福井県立大学学長

進士 五十八 (しんじ いそや) 氏

京都に生まれ、小学校時代、自然豊かな福井を原風景として美への感性を育み、長じて、ランドスケープ・アーキテクト（造園家）として緑のまちづくり、環境学者として活躍。

これまでに、日本学術会議会員（環境学委員長）、日本都市計画学会会長、日本造園学会会長、日本野外教育学会会長、東京農業大学学長、2013年福井県里山里海湖研究所長、2014年福井県立大学客員教授を歴任し、2016年福井県立大学学長に就任。現在、自治体学会顧問。日本農学賞、読売農学賞、日本造園学会賞、同特別賞、同上原敬二賞、日本生活学会今和次郎賞、内閣みどりの学術賞など受賞。Golden Fortune 表彰、紫綬褒章受章。著書に、『緑のまちづくり学』、『アメニティ・デザイン』、『風景デザイン』（学芸出版社）、『グリーン・エコライフ』（小学館）、『日比谷公園』（鹿島出版会）、『日本の庭園』（中公新書）ほか 多数。

分科会のテーマ

第1分科会「農山漁村と都市との交流」

ふるさと回帰や農的暮らしなど、都市住民の農山漁村への関心が高まる中、農山漁村では、都市から人や発想を受け入れて活力を取り戻そうという取組が進められています。地域の「宝」を磨き上げ、都市に向けて発信し、どのように展開していくか、農山漁村と都市との交流の促進について考えます。

- ◆パネラー 菅原 英人 氏（天塩町商工観光課職員、元天塩町地域おこし協力隊）
かとう けいこ 氏（まちづくり観光デザインセンター代表、ひだか観光大使）

第2分科会「住民主導のコミュニティ再生」

道内では行政の動きよりも早く、地域の問題に気付き住民主導による地域コミュニティの再生に取り組んでいる地域も少なくありません。この分科会では、札幌市の二つの地区にて精力的に活動を進めている事例を基に、行政との関わり方や今後の展開などについて考えます。

- ◆パネラー 喜多 洋子 氏（北区あさぶ商店街 地域コーディネーター「かどまーる」代表）
小泉 詔信 氏（北24条商店街振興組合理事長）

第3分科会「住民が政策を作る道～条例制定とその後の展開～」

住民主権として、政策形成に住民が主体的に関わる取組は各自治体で行われるようになってきています。この分科会では、基調講演の例を踏まえながら、条例の政策過程に市民が大きく関わった道内の例を取り上げながら、そこにどのような変化が生まれたのか議論します。

- ◆パネラー 伊藤 弘己 氏（札幌市子ども未来局保育推進担当課長、元子どもの権利推進課係長）
望月 志帆氏（美唄市保健福祉部健康推進課健康推進係長）

【参加申込方法】

当学会ホームページの専用フォームからお申し込みできます。

Eメール、官製ハガキの場合は、下記の①～⑦を記入の上お申し込みください。

- ①氏名 ②住所 ③電話番号 ④会員・非会員（一般・学生）の別 ⑤希望する分科会
- ⑥交流会出席の有無 ⑦総会出席の有無（会員のみ）

【参加申込先】

〔Eメール〕 jichi.hokkaido@gmail.com

〔ハガキ〕 〒069-8555 北海道江別市文京台1番地 札幌学院大学法学部 石井研究室内

北海道自治体学会事務局あて HP <http://jititai.net/hokkaido> mail jichi.hokkaido@gmail.com

〔申込期限〕 5月10日（水）必着 申込期限前でも定員に達し次第、締め切ります。

〔お問合先〕 電話 090-3893-7816（事務局長：平日10時～17時）または上記Eメールアドレスへ

■内容の一部を変更する場合がありますのでご了承ください。

■学会ホームページ (<http://jititai.net/hokkaido/>) に最新情報を掲載します。

表面もご覧ください！

『持続可能な地域社会の創造とは』

【開催趣旨】

「地方消滅」への危機感から、全国各地で「地方創生」の取り組みが動き始めています。出生率の向上や定住・交流人口の拡大は、いずれも日本社会が直面する重要な政策課題といえますが、一方で、全国横並びの総合戦略の策定や、都市と農山漁村が税収を奪い合うようなふるさと納税を巡る地域間競争の加熱が、本当に長い目で見た「地域社会の持続可能性」につながるのか、目先の損得を超えて、一度立ち止まって考える必要があるのではないのでしょうか。

私たち北海道自治体学会は、今後さらに本格化する「人口減少社会」における「持続可能な地域社会の創造とは何か」を、より長期的な視点かつ、実利・実践的な目線で考えていくために、基調講演に、都市計画・環境計画の分野で、住民参加型・環境保全型のまちづくりに長年取り組んできた、福井県立大学学長の進士五十八先生をお招きし、政策シンポジウムを開催します。分科会では、

(1) 農山漁村と都市の共生、(2) 地域コミュニティの再生、(3) 自治力の向上、の3つのテーマに焦点を当て、当学会のキーワードである「いま私たちができること」を掘り下げたいと思います。

◆北海道自治体学会総会（会員のみ） 10:00～10:45

★政策シンポジウム 11:00～17:00

◆当学会の研究会報告 11:00～12:00

集落研究会、議会技術研究会、ジェンダー研究会が取り組む活動を報告します。

◆主催者挨拶及び趣旨説明 12:50～13:00

◆基調講演 13:00～14:30

「(仮) 農山漁村と都市の多面的共生と再生について」

■講師：進士 五十八 氏（福井県立大学学長、自治体学会顧問）

◆分科会 14:45～16:15

「農山漁村と都市との交流」「住民主導のコミュニティ再生」「住民が政策を作る道～条例制定とその後の展開～」をテーマに3分科会に分かれ、議論を行います。

◆分科会報告、全体意見交換 16:30～16:50

◆閉会挨拶 16:50～17:00

■日時 5月27日(土)10:00～17:00

(9:30開場)

■会場 北海道大学人文・社会科学総合研究教育棟 W203号室ほか（札幌市北区北9条西7丁目）

※JR札幌駅北口から徒歩10分、地下鉄南北線北12条駅から徒歩10分

■定員 200名

■参加費 ①シンポジウム 会員は無料（要申込・参加券持参） 一般1,000円 / 学生無料（要申込）

②参加者交流会 3,500円

17:30～19:30（要申込） ※会場は当日ご案内します。

